

山口がもっと好きになる情報誌



Sight Yamaguchi vol.6 2014

「ママ、今日はどこ行くん？」
「ん？今日はねえ、どこにしようかなあ」
「決めてないん？」
「決めてるよ。でもねえ、歩きよ」たら
「行きたいとこ、いろいろ増えるんよねえ(笑)」
「歩きながら見つかるん？」
「そうよ。歩かんと見つけれんもんもあるけーね」
「そうなんじゃあ。楽しみじゃね！」



CONTENTS

- 特集1
山口の四季、オムニバス
・さくら ・ほたる
・灯り ・クリスマス市
・まちあるきマップ
- 特集2
中原中世の詩の世界を旅する
・中也ゆかりの地をめぐる
・ようこそ、中世の世界へ。
・開館20周年記念イベントのご紹介
- 発見!山口自慢の技&美味
- 彩都山口旬、情報
- イベント情報&花カレンダー



山口の四季、 オムニバス

室町時代、京を模して作られたという山口は、豊かな自然と歴史に抱かれたまち。
自然や歴史と人々が優しく共存し続けてきたまちです。
一の坂川をはじめ市内の各所をゆっくり歩けば、春夏秋冬それぞれの風情に優しく包み込まれるでしょう。
魅力の奥には、人々が大切に育み、受け継いできた小さな物語も秘められています。
まちをめぐる、山口の四季を支えるオムニバスをあなたの目と足、そして心で味わってみませんか？

彩都山口 vol.6

CONTENTS

■特集1	
山口の四季、オムニバス	p.1
・春 さくら	p.2
・夏 ほたる	p.4
・秋 灯り	p.6
・冬 クリスマス市	p.8
・まちあるきモデルコース	p.10
・山口こぼれ話	p.12

■特集2	
中原中也の詩の世界を旅する	p.13
・中ゆかりの地をめぐる	p.14
・ようこそ、中也の世界へ。 ～中原中也記念館をたずねる～	p.16
・開館20周年記念イベント	p.18

■発見！山口自慢の 技&美味	p.19
-------------------	------

■彩都山口旬、情報	p.22
・新山口駅が生まれ変わります	
・山口市観光情報サイト 「西の京やまぐち」	
・SL「やまぐち」号 運行ご案内	
・UJターンのご案内	
・ふるさとやまぐち寄付金のご案内	
・山口市産業立地のご案内	
・山口市へのアクセス	

■イベント情報	p.26
---------	------

■花カレンダー	p.28
---------	------

□プレゼントクイズ 編集後記	p.29
----------------	------

「彩都山口」のweb版は、コチラから。
<http://sight-yamaguchi.jp/>

毎年お気に入りの
場所です！





大正時代、桜が植えられた頃の一の坂川を写した古い絵葉書(個人蔵)。桜の幹がまだ細く、若木であることがうかがえる。河川改修前は川底が浅く、浸水被害が繰り返された状況を察することができる。

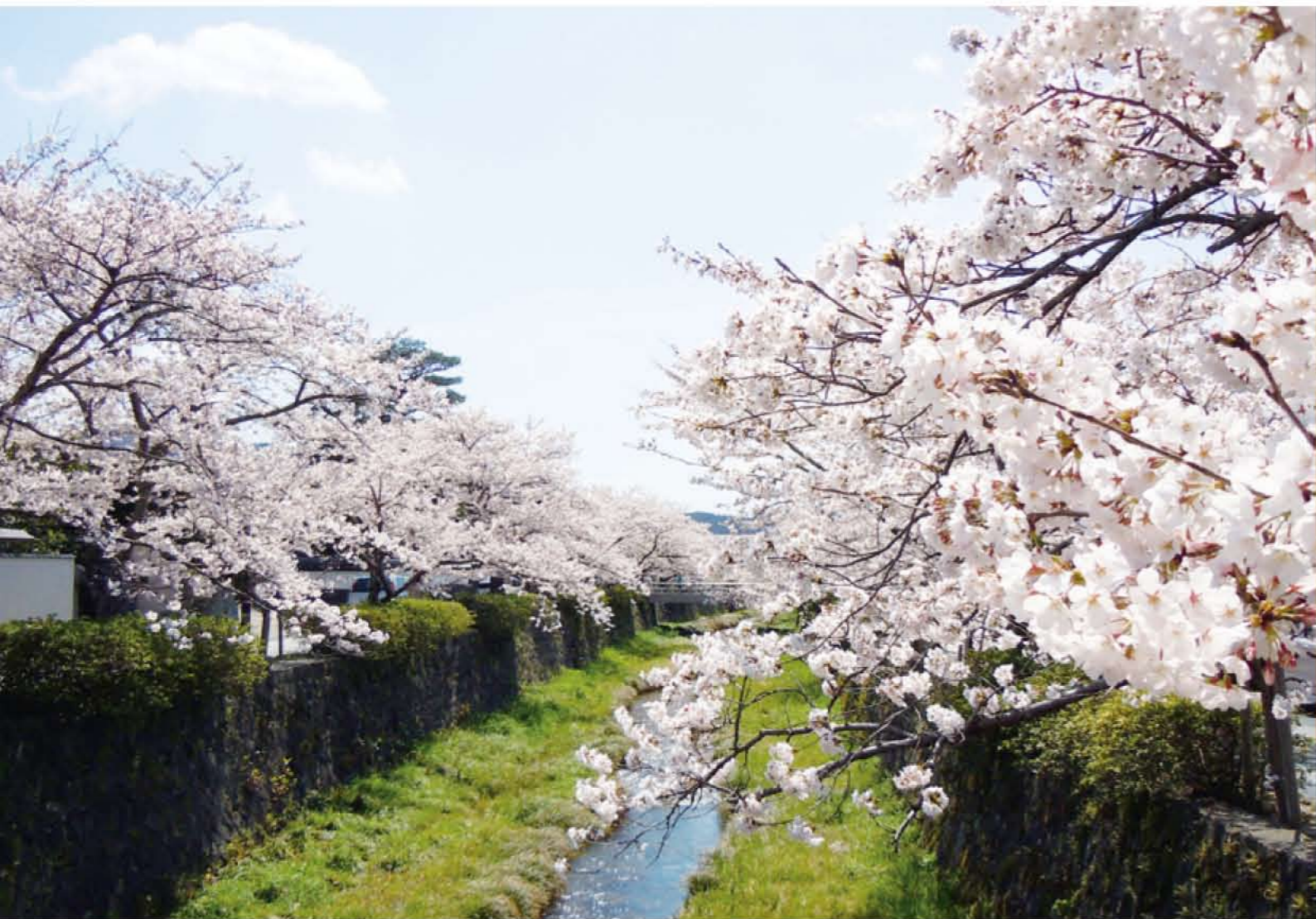
春

山口の四季は、
一の坂川の桜で
幕を開けます。

川沿いを歩けば

桜の息づかいが...

桜の名所は数々あれど、ここ一の坂川の桜並木には、格別の魅力があります。それは、せせらぎと桜との調和。散策に程よい距離の川沿いに続く並木が、季節ともなれば蕾から三分咲き、五分咲きを経て満開へ...と日々、水辺の景色の変化を楽しませてくれます。手を伸ばせば触れられるほどの高さに咲く花の形に見入ったり、あちこちに架かる小さな橋や国宝・瑠璃光寺五重塔が見える場所、放浪の俳人・山頭火の句碑など、それぞれの地点からの桜景色を見比べながら巡るのも一興。ライトアップされた夜桜もロマンチックです。



鴨川に見立てられた川が
人々と共に歴史を重ねて

山口市の中心部を流れるこの川は、室町時代に京を模して町づくりが行われた際、鴨川に見立てられました。以来、この川は常に地元の人々の暮らしと共にあつたのです。桜の木が一の坂川の川縁に現在のような並木の形で植えられたのは、大正3年(1914)、大正天皇の即位を記念してのことでした。その桜が育って最盛期を迎えた昭和初期の夏には、地元の人々は柄杓で川の水を汲み、道路に打ち水をしていたといいます。この町では、川も桜も遠くからただ眺めるだけでなく、常に身近に寄り添い合って生きる存在だったのです。

川も桜も、地域の
人々が守り、育てた

桜の寿命はおおよそ60〜70年。大正の桜が老境期に入った昭和40年代、一の坂川では護岸工事が行われました。水害から人命や住居を守る工事は、もちろん最優先の不可欠事業。けれど、桜並木に慣れ親しんで来た地元の人々の「桜が咲く、この川がいい」という声も取り入れられました。工事の際、老木となった桜を抜き去った跡に、再び新たな桜苗木が植えられたのです。

それから約40年、二代目の桜たちが円熟期を迎えた一の坂川には、毎年、絢爛たる春が訪れます。この並木は、地域の人々が跡目相続させた桜...と知れば、満開時のそぞろ歩きの感慨もひとしお。そして、花吹雪が舞い、その花びらが川面を埋め尽くす花筏まで、川と桜のコラボを楽しめます。川沿いを歩くとき、桜もまた「この川がいい」と言っている声が、きくと聞こえてくるはずですよ。



葉桜の後、ゴールデンウィークにはツツジが咲く。昭和34年(1959)の皇太子殿下(今上天皇)のご成婚を祝って植えられた。その当時から川の清掃、環境美化活動が進み、昭和38年(1963)の山口国体の際の美化活動を経て、現在も一の坂川風致保全協議会らが、川を美しく保つ活動を続けている。

桜のトンネルが
橋から眺める景色は
サイコー!



夏

「この川がいい」という人々の願いが、ゲンジボタルを守りました。

市街地に、

国の天然記念物

ゲンジボタルが乱舞する

初夏の夕刻、一の坂川は、ホタルの光に包まれます。5月半ば、ふーっと微かな光を放ってわずか数匹の初螢が飛び、いよいよシーズンがスタート。その数は日々少しずつ増えてゆき、5月末の「ほたる観賞Week!」の頃、川は多くのホタルたちが飛びかう幻想的な空間へと様変わりします。山口市の中心市街地の家々が立ち並び、国の天然記念物ゲンジボタルの乱舞が見られるなんて…これは、一つの奇跡です。

そして、奇跡の裏には必ず物語が隠されているのです。

ホタルの生育に不可欠なきれいな水や餌・環境整備は、今や、積極的な取り組みには保てないもの。この一の坂川は、昭和40年代の河川改修の際「ホタルの飛ぶ、この川がいい」という地元の声を反映させ、全国初のホタル護岸工事を行いました。それはホタルの生育環境に配慮して選ばれた工法でした。

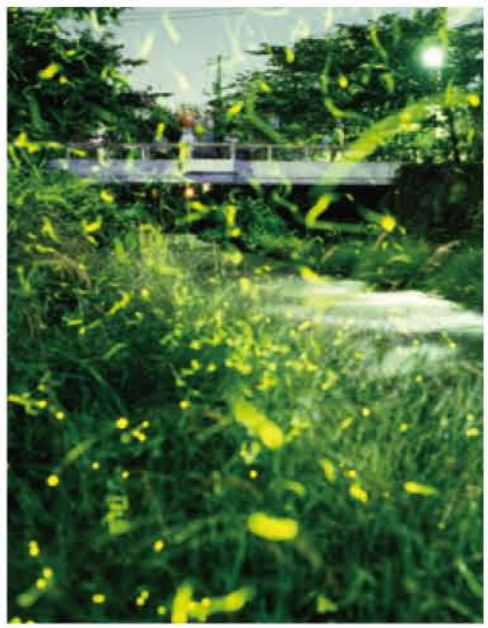
地元の人々は平成3年には、大殿ホタルを守る会を結成し、環境整備に努めています。川の掃除やホタルの工サ取りには、毎年延べ千人以上の人々が汗を流すとか。そして、この会の中核を担っているのが大殿小学校の児童たちです。ホタルの工サとなるカワナ取りには、学年ごとに全校生徒が参加し、産卵・孵化の観察にも力を入れています。活動拠点は、川沿いに立つ山口ふるさと伝承総合センター。かつて酒場の土蔵だった保護飼育場はうす暗く保たれ、ゲンジボタルの卵の発光を見る会などの貴重な機会も設けられています。



ゲンジボタルの卵の発光。非常に微かな光のため、しばらく目を凝らしていないと見えない。この写真は長時間露出により撮影。



大殿小学校の児童たちによるホタルの放流。子どもたちは、この他にも餌のカワナ取りや飼育観察に年間を通して参加。現在では、親子二代にわたって関わってきたという家族も増えている。やがては三代目へと受け継がれていくことだろう。



5月下旬～6月上旬に開催される「ほたる観賞Week!」の頃には、光を放ちながら飛ぶゲンジボタルの群れが、一の坂川を幻想的な世界に変える。



地元住民による一の坂川の一斉清掃。まずは川沿いのクリエイティブ・スペース赤れんがにて作業の打ち合わせを行い、川底から植え込みまで徹底的にきれいにする。一日の清掃が終わると、こんなにゴミが…。



大殿小学校の児童たちが、昭和62年(1987)からホタルの飼育・放流の場としていた旧野村酒場の土蔵跡地に、平成3年に山口ふるさと伝承総合センターが開設され、活動拠点になっている。

ホタルを愛でる心は、中世から受け継がれ

卵の発光…といえば「29代大内政弘の『拾塵和歌集』には潤底螢の歌があり、大内氏の時代には、月の光も届かない谷川の水底でも光るほど多くの孵化したばかりの螢の幼虫が生息していた…とも読み取れます」と、大殿ホタルを守る会事務局長の岡田勝栄さん。ホタルを愛でる心は、はるか中世の頃からこの山口に息づいていたに違いありません。

平成27年には、天然記念物指定80周年を迎える山口ゲンジボタル発生地、人々の愛に支えられて飛ぶホタルは、ひときわ優しく、温かい光を放っているようです。



①ミズゴケに産卵中のホタル。



②バットの中にミズゴケを入れ、水分補給しながら卵の孵化を待つ。産卵から25日くらいで孵化し始める。



③ミズゴケに産みつけられたホタルの卵。大きさは直径0.5mmほど、明太子の小さな粒くらい。



④孵化したばかりの幼虫。体長2mmほど。この時期だけは顔が白く、黒い目がくっきりしている。

秋

人々が育てた
イベントの灯が
古都の夜を照らします。
「山口ゆらめき回廊」

秋の夜長、誰かと、そして自分自身と語り合いたくなったとき、山口には最高の舞台が用意されています。国宝・瑠璃光寺五重塔を取り囲むように約千個のキャンドルの灯りが揺れる「山口ゆらめき回廊」。あたりは幽玄な雰囲気になります。

キャンドルをともし、
灯りを広げていく喜び

この夜間イベントが開催されるのは9月中旬の週末。午後6時になると、五重塔の立つ香山公園に並べられたキャンドルに、公募で集まった地元の点灯ボランティアが次々と火をともしていきます。

十数人のボランティアたちは、いずれも柔らかな笑顔。一つ、また一つと自らの手で灯りを増やしていく喜びを、全身で味わっています。その様子を見ていた観光客が、思わず飛び入りで点灯に参加するシーンも…。キャンドルの揺れる炎は、たくさん笑顔を照らし、心まで温めてくれます。皆と一緒に灯りの輪を広げていくひととき、人と人とのつながりも実感し、静かな感動が心を満たします。

平成19年に「山口の夜を盛り上げよう」と始まったこの山口・秋のイベントは、今ではおなじみのものとなり、市外から楽しみに訪れる常連客も少なくありません。幻想的な光景をレンズに収めようと早々と撮影位置を確保するアマチュアカメラマンの姿も見られます。

とっぴり日が暮れると、ライトアップされた瑠璃光寺五重塔との競演もいよいよ最高潮に。コップに浮かんだ口ウソク一本一本のゆらめきが回廊となって五重塔の周辺を彩っていくさまは神秘的ですらあります。塔の前の満月の庭では、山口ゆかりのアーティストによるコンサートも開催され、気分はいちだんと高まります。園内の茶室でのゆらめきの灯り茶会も情緒たっぷり。

山口の文化遺産や自然を静かに照らす灯りは、地元の人々の心にも似て、ほかに温かく、優しいのです。



夕闇がせまる中、キャンドル一つひとつに点灯していくボランティア。



準備を手伝うボランティアの中には、子どもたちの姿も。平成25年からは地元のNPO法人大路小路まちひとづくりネットワークが運営に当たっている。



瑠璃光寺本堂へと続く参道。雨の場合は本堂をコンサート会場として開放するなど、瑠璃光寺もイベントにとっても協力的。



国宝・瑠璃光寺五重塔は、室町時代、26代大内盛見が兄・義弘の菩提を弔うために建立した。すっきりした塔身に檜皮葺の屋根がマッチした美しい塔は、日本三名塔に数え上げられている。▶

◀同じ夜、近くの一の坂川では河原に約500本の竹灯籠を点灯するアートふるりバーナイトも開催されているので、ハシゴして楽しむのもおすすめ。





山口サビエル記念聖堂での初日セレモニーでは、「絆」のゴスペル大合唱が響きわたる。

**日本で初めて
クリスマス祝った地**

冬の山口には、とっておきの秘話があります。それは「日本で初めてクリスマスが祝われたのは、ここ山口」という言い伝えです。

大内氏31代当主・大内義隆は、宣教師フランシスコ・サビエルの布教活動を寛容に受け入れ、天文21年（1552）12月9日、日本で初めての降誕祭（クリスマス）が山口で祝われたと伝えられています^{※注1}。

21世紀に入ってからこのビッグニュースがひもとかれ、「12月、山口市はクリスマス市になる。」と銘打って、毎年12月には市内各地でさまざまなクリスマスイベントが開催されています。

シンボルになっているのは、新龜山公園に再現された旧サビエル記念聖堂のイルミネーション。



山口のクリスマスイベントは平成13年（2001）、クリエイティブ・スペース赤れんがのモミの木に山口商工会議所青年部がイルミネーションを施したことから始まった。



阿東地域交流センター地福分館では20mを超えるもみの木に電飾した巨大ツリーの下でイベントを開催。

冬

山口市は、クリスマス市になります。



シオン。旧聖堂は、昭和27年（1952）にサビエルの山口来訪400年を記念して建てられましたが、平成3年に焼失、現地には現在、斬新なデザインの新聖堂が建っています。それでも約40年間この街にあった旧聖堂を懐かしむ声は多く、「12月、山口市はクリスマス市になる。」のシンボル・モニュメントとして旧聖堂が再現されているのです。澄んだ冬の空気の中で穏やかな光を放つ旧聖堂のモニュメントは、古き良きものへの愛着を忘れない山口の人々の心の証ともいえるでしょう。

**サビエルを受け入れた
「絆」の心を今&未来へ**

そして、もう一つ見逃せないのは、大内義隆

とフランシスコ・サビエルの交流から導き出された「絆」というキーワード。近年、日本中でよく口にされているこの言葉を、山口ではいち早くクリスマス・イベントの核に定め、よりどころとしてきました。

平成24年から山口サビエル記念聖堂で開催されている初日セレモニーでは、「絆」をテーマにした市民参加の大合唱や、ゴスペルシンガーらによる賛美歌が夜空に響きわたります。それは「絆の意味、クリスマスの楽しさに、ずっと前から気づいていたよ…」という先取り精神への賛歌にも聞こえます。

歴史に抱かれた山口の街で、温故知新のメリークリスマス。



一の坂川は、桜の名所にちなんだピンクのイルミネーションで飾られる。

※注1 松川毅一「山崎桃太試行ロイス日本史」村上周次郎訳注「続群書類完成会」耶蘇会士日本通信（豊後編）



てくてくやまぐち

まちあるき

モデルコース

四季それぞれに、ここに暮らす人々との物語を秘めた山口のまち。ゆっくり、じっくり巡ってみませんか? 訪ねてみたいポイントをご紹介します。歩いている散策はもちろん、レンタサイクルでのミニ周遊もおすすめてです。



山口ふるさと伝承総合センター

明治時代に建てられた造り酒屋の建物を整備した館内には、山口の伝統工芸・大内塗や萩焼が展示され、大内塗箸作り体験ができます。旧土蔵ではゲンジボタルの保護飼育が行われています。



一の坂川

春の桜、夏のホタルと出会えるのはここ。9月には竹灯籠を点灯する「アートふるリバーナイト」も開催されます。室町時代、京の鴨川に見立てられた川は、どの季節に訪れても情緒たっぷり。そぞろ歩きに疲れたら、一休みできるカフェや食事処もあります。



堅小路(たてこうじ)界隈

古くからの町並みが残り、大路・小路と付く街路が数多くあります。休憩スポット大路ロビーでは、周辺情報やお茶のサービスを提供しています。秋にはここ堅小路と一の坂川一帯で「アートふる山口」が開催され、地区全体が美術館になります。



レンタサイクルはコチラ

- ★クリエイティブ・スペース赤れんが ☎083-928-6666
 - ★山口市菜香亭 ☎083-934-3312
 - ★山口ふるさと伝承総合センター ☎083-928-3333
 - 湯田温泉観光案内所 ☎083-901-0150
 - 貸自転車福武(JR山口駅前) ☎083-922-0915
- ※印のスポットでは、レンタサイクルの相互返却ができます。



湯田から山口まで 自転車約12分



※所要時間はあくまでも目安です。天候や交通事情等により変動する場合がありますのでご注意ください。

中原中也の 詩の世界を旅する

中原中也という詩人をご存知ですか？

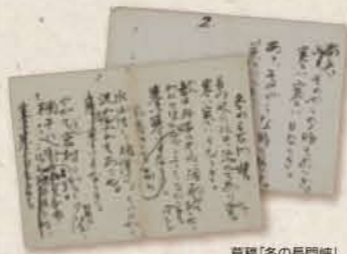
彼を知らなくても、詩を耳にしたことがあるという人は少なくないはず。
心地よく響くリズム、独特な言葉づかい、どこかせつなさを帯びた世界観…。
日本の近代詩に偉大な足跡を残した中原中也は、山口市湯田温泉で生まれました。
ここでは山口市に点在する中也ゆかりのスポットをご紹介します。
詩がうまれた場所、山口の風や光を感じながら
ぜひあなただけの中也を感じてみてください。

中原中也記念館
2階のルーフガーデン♪
ここ、実は建物の
帽子の形をしている
部分なのよ。



なかはら ちゅうや
中原 中也 (1907-1937)

明治40(1907)年4月29日、山口市湯田温泉の中原医院に生まれる。父・謙助、母・フクの長男。小学校高学年から短歌を制作。文学に熱中するあまり、山口中学校(現山口県立山口高等学校)を3年で落第。京都の立命館中学校に転校後、ランボーやヴェルレーヌなど、フランス象徴派の詩人を知り、多大な影響を受ける。詩人としての道に目覚め、大正14(1925)年、上京。昭和8(1933)年、遠縁にあたる上野孝子と結婚。昭和9(1934)年に、第一詩集『山羊の歌』を出版し、詩壇に認められる。フランス詩の翻訳も手がけ、訳詩集『ランボオ詩集』などを刊行。昭和12(1937)年、山口への帰郷を願いつつ、鎌倉にてわずか30年の短い生涯を閉じる。彼の死後、小林秀雄に託した第二詩集『在りし日の歌』が刊行された。現在も、中也の詩は多くの人々に愛されている。



草稿『冬の長門峡』

「ぼんぼんぼんぼん」

ゲンジボタルの飼育・放流に取り組み、「ホタルの飛び川」を維持してきた地元の人々。でも、放流の数は、一定数にとどめています。なぜなら、人の手によってホタルの数を増やし過ぎると、自然界のバランスが乱れ、川にあるエサが足りなくなるから…。「かつて一の坂川のホタルが絶滅の危機にあった頃には養殖・増殖に努めたのですが、成虫発光数が安定した現在は、保護飼育に切り換えています。数は程々を保ってあげたい、と考えています」(岡田勝栄さん)。
無理や過剰を重ねて華やかな結果を追求よりも、自然と寄り添ってまろやかに生きる…山口に受け継がれている心といえそうです。



「いけんのよねえ?」

山口の夏の風物詩、ゲンジボタルは国の天然記念物。珍しさも手伝って、捕まえてみよう…と手を伸ばす人もいます。そんな観光客の姿を見た地元の小学生は、一緒にいた自分の親に「ホタルは捕まえたらいけん(いけない)のよねえ?」とささやいたとか。直接本人に「捕まえてはダメ」なんてキツイ言葉はかけません。でも、その愛らしい問いかけを聞いた観光客は、伸ばしかけていた手を引っ込めたのです。ホタルを育て、見守っている山口の子どもたちは心優しく、言葉もまろやかです。

山口こぼれ話

キーワードは

ま ろ や か

山口の四季の魅力を探っていく中で
みつけたのが、さまざまところに共通する
「まろやか」な感性。
強烈ではないけれど心を温めてくれる、
山口の「まろやか」、
いくつかお伝えしましょう。



湯田温泉の湯

無色透明のアルカリ性単純温泉、肌によくなじむやわらかい湯です。一日に2000トンの豊富な湯量も自慢。効能は神経痛や筋肉痛をはじめ幅広く、肌をすべすべにする効果もあるとか。強烈な匂いや色はないけれど、肌によくなじむまろやかな湯です。

外郎だつて、まろやか

山口の名菓といえは外郎。ぶるんとした口当たりの、甘さも上品なお菓子です。他県のもっちりして食べ応えのある外郎と比べると、あっさりとした中に深い味わいが秘められている感じ。違いは、山口の外郎がわらび粉を主原料としている点にあります。西の京にふさわしい、ほんなりとまろやかな味わい。ここにも山口気質が表れているようです。





吉敷川と中也が眠る中原家累代之墓

詩作のモデルになったといわれる川

地上に流水がなく、小石や砂礫ばかり見える時期が多いため、別名、水無川とも呼ばれる。近くにある経塚墓地には「中原家累代之墓」がある。祖母のスエは、乳母車に中也らを乗せ、よくこの川沿いを散歩したという。「一つのメルヘン」や「蟬」などの詩の題材になった情景といわれている。



中也の詩「春宵感懐」から「春宵の湯」と命名された露天風呂。



西村屋

中也が祝言を挙げた温泉旅館

旅館内には、中也が実際に使用した葵の間や、中也を紹介した展示コーナーがある。予約をすれば、中也が好んだ料理が並ぶ「中也ゆかり膳」も堪能できる。(宿泊利用の場合のみ)



錦川通り

温泉情緒を偲ばせる通り

約40年前までは、川沿いに柳がゆれ、粋な芸妓の姿が見られた、湯田温泉のかつてのメインストリート。ここに、中也の代表作の一つ、「童謡」が刻まれた詩碑がある。碑の文字は、中也の直筆原稿から写し取ったもの。

中也ゆかりの地をめぐる

心の声をそのまま表現することに情熱を注いだ中原中也。彼の詩には幼いころ親しんだ故郷の風景も登場しています。古い歴史とともに豊かな自然を残し、訪れる人々にやさしい表情を見せてくれる…中也という詩人の根本を形づくったのは、そんな山口の風土だったのかもしれませんが。詩のなかにある風景や音を感じながら、中也ゆかりの地を旅してみませんか？新しい発見があなたを待っています。



JR山口線

詩人も愛したのどかな車窓風景

現在の山口線が開通したのは、中也が小学校に通い始める前年の1913年。彼の詩や文章には、汽車や汽笛がよく登場する。汽笛の響きを母親に重ねた詩を綴ったり、父と一緒に乗った思い出を手記に記したりしている。



湯田温泉駅

白狐ゆう太のモニュメントが目印

中也は、この駅から京都や東京に旅立ち、帰省の際にはこの駅に降り立った。駅から歩いて10分のところに、生家跡に建てられた中原中也記念館がある。

歩き疲れたら足湯でゆったりのお風呂をほっこりしよう！

湯田温泉

山陽路随一の湯量を誇る天然温泉

その昔、白狐が傷を癒していたことから発見されたと伝えられる温泉。泉質は無色透明、アルカリ性単純温泉で、温泉独特の癖が気にならないやわらかい湯が特徴。市内には無料で利用できる足湯が6カ所ある。



井上公園

湯田温泉の一角にある休憩スポット

井上馨の生家跡に造られ、公園内には、中也がこの地を思い詠んだ「帰郷」の一節を刻んだ詩碑がある。詩句は小林秀雄、碑文は大岡昇平によるもの。また、中也の父・謙助が建設に尽力した「七脚の碑」や、無料で利用できる足湯もある。



長門峡

四季折々の表情が楽しめる渓谷

入り口には、第二詩集「在りし日の歌」に収められた「冬の長門峡」の詩碑がある。この詩は、長門文也を失った約1ヵ月後に書かれたもの。中也は帰郷時によくここを訪れ、友人の安原喜弘が来たときにも案内したといわれている。



鳴滝

夏は家族連れで賑わう清涼スポット

入り口には、第一詩集「山羊の歌」に収められた「悲しき朝」の第1連が刻まれた詩碑がある。これは、中也が父を見舞いに山口へ帰郷した際に、鳴滝の情景を素材に作った詩といわれている。



高台にあるので見晴らしも最高！

権現山

湯田温泉の街並みを一望できる

湯田温泉の東にある高さ40mほどの小さな山。中也が子どものころに遊んだり、長男の文也を連れて散歩に来たりしていた。石段を上った山頂には、熊野権現を祭る熊野神社がある。



中也も愛した思い出の味

中也が上京みやげとして好んで買っていた外郎。中也の弟・中原思郎著「中原中也ノート」には、「ふるさとは、外郎のような原始の味がある」という、詩人・中也ならではの評が紹介されている。



旅の思い出に特別な消印を添えて

湯田郵便局では、中原中也記念館開館20周年を記念した小型記念通信日付印(小型印)が期間限定(10月22日まで)で登場！また、湯田郵便局の風景印には井上公園の中也詩碑、神田郵便局は中原中也記念館が描かれている。

旅先から投函するのにおすすめ！



映像展示

常設テーマ展示や特別企画展と関連した作品を映像で紹介。朗読とも、イメージ映像とも異なるかたちで、中也の詩の世界を感じとることができる。



展示1. 恋人よ

「初恋」「長谷川泰子との恋愛」「愛の様々な表現」の3つのカテゴリで展開。中也の情熱的な一面を知ることができる。



「中也 愛の詩
—いとしい者へ」
2014年2/16(日)
~2015年2/15(日)

展示2. 家族へ

「母・フク」「妻・孝子」「長男・文也」「次男・愛雅」「愛の表現のひろがり」という5つの視点から、中也の知られざる家族への思い、関係性を紹介。

常設テーマ展示 中也の「愛」がいろいろ

1年ごとに展示替えがあり、来年2月までは「中也 愛の詩—いとしい者へ」をテーマとした展示が行われます。恋人・長谷川泰子をめぐめる出会いと別れから生み出された魅力的な恋愛詩、家族に対する中也の愛情深い一面が見て取れる日記や書簡などを紹介。中也の作品に表れる、さまざまな「愛」の表現を感じてみよう。



常設テーマ展示
試聴コーナー
長谷川泰子が中也について語る、「ゆきてかへらぬ 中原中也との愛」の音源を初公開!



中也記念室
詩集や関係図書を広げて読むことができるくつろぎのコーナー。

のんびり読書ができるよ!



ビデオ放映室

中也の生涯を映像で紹介した「中原中也の軌跡」(約15分)を常時放映。



資料検索室・CD試聴コーナー

中也に関するさまざまな資料を検索したり、中也の詩に基づく楽曲を鑑賞したりすることができるコーナー。記念館が制作したオリジナルCDの試聴も可能。



ホール
中也とも親交の深かった彫刻家・高田博厚作のブロンズ像を展示。手前のドアからルーファガーデンに出ることができる。13ページの写真はここ。

2F



タイムスリップしよう!

廊下

1930年代から1970年代の湯田の姿をモノクロ写真で追ってみよう。



1F

中也の直筆をチェック!
常設固定展示

中也の詩人としての業績を、いくつかのテーマに分けて紹介。30年の生涯を中也自身やかかわりのあった人々の言葉とともに解説している。



中原中也クイズに挑戦!

親子で楽しめるクイズ形式のワークシートを無料配布。クイズに答えながら中也の世界をのぞこう。

中也の世界が見えてきた!



記念館の歴史をチェック

企画展示

年数回のサイクルで展示替え。7月までは、「中原中也記念館の20年」と題して、記念館が誇る貴重な収蔵資料、ゆかりの人々からのメッセージなどを紹介しながら、20年の歩みをたどります。

企画展1

「中原中也記念館の20年」
2014年2/16(日)~7/27(日)
「中原中也記念館ができるまで」20年のあゆみ」「中原中也記念館コレクション」「未来へ向けて」の4つのカテゴリで構成。



中原中也記念館をたずねる よろこそ、 中也の世界へ。

旅館や飲食店が軒を連ねる大通りから一歩足を踏み入ると、コンクリート打ちっぱなしのモダンな建物が見えてきます。ここが、詩人・中原中也の生家跡地に建てられた「中原中也記念館」です。中也愛用の帽子をモチーフにした円い屋根が印象的な建物は、2014年2月に改修工事を終えてリニューアルオープン!館内は、常設固定展示、常設テーマ展示、企画展示の三部構成で、それぞれ中也の草稿や日記、手紙などの貴重な資料が公開されています。

中原中也記念館

〒山口市湯田温泉一丁目11番21号 ☎083-932-6430 ☎083-932-6431 🌐http://www.chuyakan.jp/
■開館時間 /5~10月 9:00~18:00 (入館は17:30まで) /11~4月 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
■休館日 /月曜日(祝祭日の場合はその翌日)、毎月最終火曜日(変更となる場合あり)、年末年始、その他展示替え期間
■入館料 /一般320円(270円)、大学生210円(162円)、小中高生160円(108円)、70歳以上は無料 * ()内は20人以上の団体

交通アクセス

・JR新幹線「新山口駅」からJR山陽線「湯田温泉駅」下車、徒歩10分
・JR新幹線「新山口駅」からバス約20分、「湯田温泉」下車、徒歩1分
・山口宇部空港から山口市内・湯田温泉行きバス約45分、「湯田温泉」下車、徒歩1分

屋外



モダンでカッコイイ!

アプローチ

入口まで続く真っ直ぐなアプローチ。右手には中也の詩編が書かれたガラスパネルがある。時間帯・天気によっては、樹木が壁面に芸術的な影を映す。



幼少からの中也を知ってる!

カイツカイブキの木と生誕の碑

入り口には、幼少のころから中也を見守っていたカイツカイブキの大木がそびえ立ち、そばには生誕の碑が建つ。

ようこそ! 中也の世界へ。



この木材の一部は、中也も利用した山口線の枕木を再利用してらんだって!



こども忘れずチェック!

屋外展示

記念館へと続く中庭には、中也の詩を展示。空の下で中也の詩を楽しむことができる。



「博りかたに投かんしょう!」

1F受付前

中也記念館から手紙を出そう!

20周年を記念し、2014年10月22日(水)までの期間限定で湯田郵便局オリジナルの小型印が登場!館内の特設ポストに投かんすると、この小型印を押してもらえます。
※配達までに要1週間程度



「新たな生活の器として県内外はもとより、海外にも発信予定です。」と、陶磁器の開発に携わる(有)中村民芸社の中村 功さん。



大内塗り
約600年前に栄華を誇った大内文化の華やかさを今に伝える漆器。



●大内塗漆器振興協同組合
●山口市下野小路12
●山口ふるさと伝承総合センター
☎083-928-3333

2013年夏、大内塗・萩焼・赤間硯が融合し、山口陶磁器という全く新しい工芸品が誕生しました。萩焼に漆を塗って焼き上げるこの陶磁器は、表面が固く傷が入りにくいほか、一般の食器と同じように洗剤で洗い、電子レンジでの使用も可能。まさに伝統美と使いやすさが両立した工芸品で、ピンクやブルーといった現代的なカラーも数多く展開されています。



漆アレルギーの心配もなく、手入れが楽なので普段使いも可能です。山口陶磁器は、山口市大内の(有)中村民芸社にて販売。



生外郎は冷蔵庫に入れると硬くなってしまいますので常温で保存し、その日のうちに食べるのがおすすめ。

山口の外郎

米粉ではなく、わらび粉を使用する山口外郎。わらび餅のようにプルンとなめらかな食感が楽しめます。

発見! 山口自慢の 技&美味

豊かな自然に囲まれた山口市。鮎が泳ぐ清らかな川が街中を流れ、山間部では良質な農作物が育ちます。また、室町時代には守護大名・大内氏の拠点として栄え、今も歴史と伝統文化が色濃く残る街としても知られます。そんな山口市では、古き良きものは守り継ぐ一方、地域の発展を願う情熱により、自然と技術、伝統と革新が掛け合わさって、新しい名物たちも生まれています。思わず自慢したくなる山口の技と美味をご紹介します!



開館20周年記念イベント

2月16日に行われた開館20周年の記念式典を皮切りに、展示以外にも豪華ゲストを招いた多彩なイベントが目白押し! このほか、公式ガイドブックの発行や中学生向け副読本の制作、湯田温泉旅館・ホテルの客室などへの記念館オリジナル詩集の配置など、さまざまな企画が盛りだくさん。進化する中原中也記念館から、ますます目が離せません! 見たり、聞いたり、参加したり…ぜひ実際に足を運んで、中也のことばや詩の世界に触れてみてください!

※掲載の情報は、2014年3月現在のものです。予告なく変更となる場合もありますのでご注意ください。



第19回 中原中也賞贈呈式 & 川上未映子(作家)×穂村弘(歌人)トークセッション

2014年4月29日(火・祝)16:00~18:30

山口市市民会館大ホール ※全席自由。前売一般800円(any会員・大学生以下500円)・当日1,000円
「中原中也賞」の贈呈式にあわせて、第14回中原中也賞受賞者で芥川賞作家の川上未映子氏と、歌人の穂村弘氏によるトークセッション「中原中也、その愛と魅力と謎」を開催。



中原中也生誕祭「空の下朗読会」

2014年4月29日(火・祝)12:30~15:00

中原中也記念館前庭 (※雨天の場合は山口市市民会館小ホール)
朗読を好んだ中也にならない、中也生誕日に、一般参加を募った朗読会を実施。谷川俊太郎氏(詩人)、谷川賢作氏(作曲家・ピアニスト)の親子をゲストにしたライブも開催。



子どものための詩作ワークショップ

2014年5月4日(日)~6日(火・祝)

クリエイティブ・スペース赤れんが
第4回中原中也賞受賞者で、福島在住の詩人・和合亮一氏を講師に、「ことば」を伝えることの魅力を体験できるワークショップを開催。



中原中也詩英訳パネルディスカッション

2014年7月13日(日)

ホテル松政
パネリスト/伊藤比呂美氏(詩人)ほか4名
詩人の伊藤比呂美氏をコーディネーターに、翻訳チームを編成して、中也の詩を共同で英訳するパネルディスカッションを実施。



中原中也に関する公開講演

●講演I/2014年9月14日(日)

ホテル松政 講師:池澤夏樹氏(作家)

●講演II/2014年10月(予定)

山口情報芸術センター 講師:大林宣彦氏(映画作家)

詩、小説、翻訳など幅広く活躍する作家の池澤夏樹氏を講師に迎えての講演のほか、山口情報芸術センター[YCAM]における中也関連映画の上映にあわせて、中也詩が重要なモチーフとなる新作映画「野のななのか」を監督した大林宣彦氏による公開講演会を開催。



映画で知る中原中也

2014年10月(予定)

山口情報芸術センター

中也が観た映画、中也の関係者が出演した映画、中也が登場人物として活躍する映画など、映画を通じて浮かび上がる、詩人像や詩の世界を紹介。

YCAMとのコラボレーション企画

2014年10月~2015年1月(予定)

中原中也記念館ほか

中也の詩のことばを素材に、山口情報芸術センター[YCAM]との共同制作により、中也の作品の新しい楽しみ方を紹介。

20周年記念オリジナルグッズも登場!

※価格はすべて税込です

20周年記念フレーム切手
(記念館オリジナル紙付)
1,200円 ※お一人様3シートまで
「中原中也記念館から手紙を出そう」企画にあわせて、中也の肖像や詩集、記念館の写真を使用した「フレーム切手」(80円×10枚)を販売。

20周年オリジナルレターセット
250円
便せん2枚、封筒1枚、ハガキ1枚がセットに。(変更する場合があります。)

公式ガイドブック「中原中也の世界」
1,200円

20周年記念タオルハンカチ
(ページュ・茶) 各500円

20周年記念トートバッグ
(ネイビー・ナチュラル) 各1,500円

※中原中也記念館ホームページの「オンラインショップ」でも取り扱っています。



爽やかな風味は、川魚が苦手だった人にも「おいしい!」と好評。湯田温泉の提携旅館・居酒屋でも、コースや一品料理で味わえます(要事前予約)。



清流・楳野川の鮎に山口県特産ミカンの果皮抽出物を与えて育てられる、全国でも珍しい柑橘の香りがする鮎。楳野川漁業協同組合と山口大学農学部が共同開発し、山口市の新名物として2012年から販売されています。楳野川漁業協同組合などで購入でき、販売期間は活魚が3〜8月末、小鮎(冷凍)が3〜5月末、その他冷凍ものは一年中OKです。

水



楳野川漁業協同組合
山口市平井340-1 ☎083-922-3537



楳野川漁業協同組合
主任 山下 剛さん



水

山口市内には3つの蔵元と地ビール工場があります。こだわりの素材、こだわりの製法、込められた思い...それぞれ個性豊かな地酒ばかり。お土産に、食事のお供にぴったりの一品がきっと見つかるはず。

金光酒造 株式会社

約40年の歴史を持つ、酒を愛した俳人・種田山頭火にちなんだ商品「山頭火」は、県産酒米・山田錦を使い、熟練の技で醸造されます。「酒を通じて人と人との橋渡しがしたい」との思いから、早春は蔵開き、夏は冷やガーデン(冷酒まつり)などイベントも積極的に開催されています。



(左)杜氏 青木 宏志さん
(右)代表取締役社長 金光 明雄さん

「山頭火 純米吟醸」は、少し酸味があってすっきりした味わい。冷やして飲むか、ぬる燗がおすすめで、日本料理全般に合います。良いものをできるだけたくさんの人に飲んでいただくために、精米歩合を上げて价格也格は据え置きです!と杜氏の青木さん。

山口市嘉川5031
☎083-989-2020

新谷酒造 株式会社

蔵人一名の小さな蔵。温度管理をした四季醸造蔵で一年中、酒が仕込まれています。一回の製造量はわずか600L。完成品は約2カ月で売り切られるため、常に搾りたてが味わえます。「米のうま味が生きた甘口の酒は根強いファンを持ち、日本酒初心者でも飲みやすいですよ」と蔵元の新谷さん。



「搾ってそのままのフレッシュな味わいを低温から常温でどうぞ」と蔵元おすすめの「純米無濾過生原酒 わかむすめ」は、インパクトのある甘さの中にも、程よい酸味があるため後味はさっぱり。



山口市徳地1673-1
☎0835-52-0016



代表取締役 新谷 義直さん

山城屋酒造 株式会社

江戸時代初期に栄えた豪商・山城屋安部が前身で、明治27年から酒造業を開始。主力商品の「杉姫」は約80年前から地元で愛され続け、現在も山口市内を中心に販売されています。2014年4月、山口市の米と水にこだわり、「鴻城乃蒼を約40年ぶりに復刻しました。」



県産の酒造米・山田錦を使って製造した「杉姫 上撰」。「大吟醸や冷酒など他にも種類がありますが、一番杉姫らしさが出ているのが上撰。昔ながらのふんわり甘めの口当たりが特徴です。冷やもおすすめですが、人肌ぐらいに温めるとより一層香りが引き立ちますよ。」と蔵元の宮崎さん。



代表取締役 宮崎 展一さん



山口市道場門前2-1-7
☎083-922-5757

山口地ビール 株式会社

ミネラルを多く含んだ鳴瀬のまろやかな地下水を使用した地ビール。「厳選素材を長期熟成させ、熱処理をしないため風味が良く、ビールが生きている」と感じていただけるほど新鮮ですよ。」とビール職人の山本さん。モンドセレクションで3年連続受賞を果たし、2010年には最高金賞を受賞しました。



左からスタウト、ペールエール、ピルスナー、ヴァイツェン。少量生産で出来たてを生きた酵母とともに瓶へ。それぞれ味と香りに際立つ個性があるので、季節や好みに応じて飲み分けて。



山口市下小崎1360-4
☎083-941-0100



ビール職人 山本 雅彦さん



揚げばパリッと香ばしく、蒸せばモチッ、煮るとツルツとうどんのような食感に。冷凍パックが市内の道の駅などで販売されています。家庭の食卓のほか、山口市内の学校給食で提供されるなど、新しい山口の味として広がっています。



山口県の郷土料理「けんちんちよう」を県産米粉の皮で包んだしょう油味の和風小籠包。子どもたちにけんちんちようを身近に感じてもらう、郷土の味を伝えていくことを目的に開発されました。かわいい見た目で味と栄養は本格派。一口食べれば、ダイコンやニンジンなどの県産野菜と長州どりのうま味がジュワッとあふれ出します。



「味付けには、無添加の天然調味料を使っています。後を引くおいしさですよ」と山口けんちんちようマンプロダクションの原田 啓介さん。

山口けんちんちようマンプロダクション
山口市湯田温泉3-1-15 第一ビル1F
☎083-932-6155 (ご鹿や)



「kanbutsu」は、山口市発の新しい特産品ブランド。山口市の農水産物を素材に、地元乾燥機メーカーの優れた技術を使って製造した新しいタイプの乾燥食品(乾物)です。産学官が一体となって開発に取り組み、平成23年に製品化、販売を開始。facebook「山口市役所かんぶつ部」では、乾物づくりの様子や乾物を使ったレシピを紹介しています。



右/豊年ととれたすいか(スイカのドライフルーツ)
製造者:JA山口中央阿東豊年支所女性部
中/長門峠ととれたなし(梨のドライフルーツ)
製造者:実り会(阿東篠田地域の女性グループ)
左/カワラケツメイ茶
製造者:とくち健康茶企業組合



仁保名産のラッキョウを使った「仁保きよ」。製造者:仁保田舎のべっぴんさん(UA山口中央仁保支所女性部の有志)



山口市交流産業企業舎
☎083-934-2928



「旬の食材を生産者自らがじっくりと乾燥させることで、味が凝縮し、甘みやうま味がアップ。さらに米藁が指なわれないのも特徴です。」と、「仁保田舎のべっぴんさん」の須子 初子さん。

※商品は時期により在庫切れの場合あり



一般財団法人山口観光コンベンション協会
 ☎083-933-0088
 URL http://yamaguchi-city.jp/ 西の京やまぐち 検索

山口観光をより深く楽しむための情報がずらり！
山口市観光情報サイト
「西の京やまぐち」
 エリア別の観光スポット紹介をはじめ、宿泊施設、レジャー施設、飲食店や土産物情報など、山口の観光に関する情報が満載。旬のイベント情報や最新のインフォメーションなども随時掲載されるので、山口市へお出かけ前にチェックのサイトです。
 山口を代表する国宝瑞雲寺五重塔や「大内文化」の歴史を楽しく学べるコンテンツも充実。湯田温泉など山口市内に点在する8つの温泉も詳しく紹介されているので、温泉巡りの情報収集にもおすすめです。

SL「やまぐち」号運行のご案内



SL「やまぐち」号関連の情報は右記のSL「やまぐち」サイトで確認できます。 検索



JR西日本広島支社営業課
 ☎082-261-2194
 URL http://www.c571.jp/

鉄道ファンお待ちかねのうれしいニュース!!
春の休日、SL「やまぐち」号が山口線を走ります。
 昨年の豪雨災害以来、定期運行ができなくなっていたSL「やまぐち」号が、この春週末&祝日限定で「新山口駅〜地福駅間」を走りまします。なお、地福〜津和野駅は無料バス「津和野散策バス」が運行されるそうなので、津和野散策をご希望の方におすすめです。
 山口線の全線復旧まではまだ時間がかかりますが、秋頃には運転再開見込みで、昨年の臨時運行で大好評だったSLと里の秋まつりや「スリクシマス」などの季節のイベントも予定されているそうなのでお楽しみに。

運転日	4月 5日・6日・12日・13日・19日・20日・26日・27日・29日															
	5月 3日・4日・5日・6日															
	※6月は運行予定がありません。 ※7月以降の運転計画は後日発表があります。															
運転区間	新山口駅〜地福駅間（往復運転）															
	※地福〜津和野駅間は無料バス「津和野散策バス」を運行															
運転時刻	（主要駅発時刻）															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>新山口駅</th> <th>湯田温泉</th> <th>山口</th> <th>地福</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SL「やまぐち」号</td> <td>10:48 →</td> <td>11:04 →</td> <td>11:10 →</td> <td>12:14</td> </tr> <tr> <td>DL「やまぐち」号</td> <td>17:30 ←</td> <td>17:14 ←</td> <td>17:09 ←</td> <td>16:17</td> </tr> </tbody> </table>		新山口駅	湯田温泉	山口	地福	SL「やまぐち」号	10:48 →	11:04 →	11:10 →	12:14	DL「やまぐち」号	17:30 ←	17:14 ←	17:09 ←	16:17
	新山口駅	湯田温泉	山口	地福												
SL「やまぐち」号	10:48 →	11:04 →	11:10 →	12:14												
DL「やまぐち」号	17:30 ←	17:14 ←	17:09 ←	16:17												
	※地福駅からの復路は、DD51（ディーゼル機関車）、C56 機関車（逆向き）、レトロ客車5両で運転されるので、DL「やまぐち」号となります。															



新山口駅が生まれ変わります!



表口正面完成予想図（駅前広場イメージ）。



南北自由通路の壁面緑化。片面開放型で幅10メートルの通路になる。



新山口駅完成予想図（表口駅前広場から新幹線口に向けて）。

山口市ターミナルパーク整備部 建設課
 ☎083-973-2440
 ※現在順次工事を行っています。平成26年3月10日には、駅構内通路が完成しました。

山口の陸の玄関口「新山口駅」がより便利、より快適に！
新山口駅が生まれ変わります！
 新幹線のぞみ号やさくら号が停車し、山口観光の玄関口である新山口駅。平成28年度の完成に向けて、街や観光スポットによりアクセスしやすく、居心地のいい駅として生まれ変わります！
市民の声が生きる魅力的な交流空間
「表口駅前広場」
 表口の駅前広場は現在の2.5倍の広さに！利用者が利用しやすい空間にするために、市民と意見を出し合いながら構想を作っています。この市民ワークショップで出たカフェ機能や屋根付きのイベントスペースが計画されているので、待ち時間もゆったりとくつろいで過ごすことができそうです。
南北自由通路は「アート」壁面緑化で山口を表現
 駅の南北を自由に移動できる通路を整備することで行き来が便利に！通路には山口情報芸術センター監修によるメディアアートと、世界的に有名な植物学者兼アーティストのパトリック・プラン氏による壁面緑化もほごせられるとのこと。都市と自然に彩られた山口市を表現した緑ゆたかな空間に変身します。

山口市産業立地のご案内

小郡インター流通団地

新山口駅南口市有地 40%補助*

鑄銭司団地 40%補助*

山口テクノパーク 40%補助*

山口物流産業団地 40%補助*

山口テクノ第2団地 80%補助*

*産業団地用地取得額の補助率

山口市産業立地推進室
083-934-2813
sangyo-r@city.yamaguchi.lg.jp

山口市 産業立地 検索
http://www.oidemase-yamaguchi.com/

UJIターンのご案内

山口市で第二の人生を始めてみませんか？
UJIターンのご案内

緑豊かな山々。アユやヤマメ、ホテルが棲む川。広々とした田園風景。自然の恵みをたっぷりうけた土地で育てられる安心安全の農林産物。これらはみんな、山口市(阿東・徳地)エリアにあるわが市の自慢です。

山口市ではさまざまな支援制度を設けて、そんな自然豊かな中山間地域への移住・定住(UJIターン)を促進しています。

山口の田舎で、自然に囲まれ心癒されるスローライフを送ってみませんか？興味のある方は、お気軽に担当課までお尋ねください。

こんな便利な制度もあります

山口市空き家バンク制度
徳地、阿東地域の空き家・古民家の情報を収集し、移住を希望される方へ情報提供を行っています。また、同制度で成約され、入居の際、改修が必要な場合はその一部を補助する制度もあります。

山口市定住サポーター制度
古民家鑑定士や移住経験者、地域づくり団体などからなる「定住サポーター」が定住希望者へ、仕事や暮らし、空き家などの地域情報の提供を行ったり、定住へのアドバイスをします。

このほかにも、新規就農者への支援制度や起業家支援補助制度などさまざまな制度があります。詳しくは、お問い合わせください。



山口市中山間地域活性化推進室
083-934-2778



明日を拓く維新の地、西日本の結節点、山口市。産業立地のご案内

維新のDNA息づく山口市で、ともに新たな明日を切り拓きませんか？山口市は企業のみなさまを全力でサポートします。

メリット その1 災害リスクが少ない

産業団地が位置する山口市南部は、比較的温暖な瀬戸内型気候で、地震や大雪、台風など自然災害が少なく危機管理にも有利な立地環境です。

メリット その2 広域交流のネットワーク拠点

中国、四国、九州の「結節点」である山口県中部に位置し、高速道路、主要国道、新幹線や空港などあらゆる交通アクセスに恵まれています。そのため、西日本における広域交流のネットワーク拠点になっています。

メリット その3 全国トップレベルの優遇制度

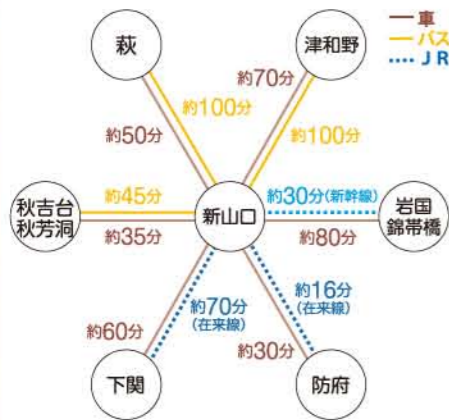
山口市ではさまざまな優遇制度を整備し、立地の初期投資負担の低減を図っています。また、対応窓口を一本化し、ワンストップで立地に関する許可や各種情報提供などに対応しています。

- 産業団地用地取得額 最大80パーセントを補助！
 - 固定資産税相当額 最大7年分を補助！
 - 新規雇用者一人につき、最大30万円を補助！
- (研究者一人につき100万円)

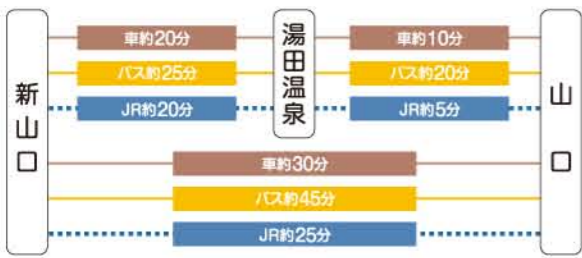
山口市へのアクセス



近隣アクセス



新山口=湯田温泉=山口の交通アクセス



広域アクセス



ふるさとやまぐち寄付金の案内

山口市を応援したいという皆さんの思いをカタチにしてみませんか？
ふるさとやまぐち寄付金

「ふるさとやまぐちを想い、山口市の役に立ちたい」「山口市に関心があり、応援したい」とお寄せいただいた寄付金は、魅力と活力にあふれたまちづくりのために大切に活用していきます。皆さんの「寄付が山口市の未来を創ります」。ご支援・応援を心よりお待ちしております。

5,000円以上寄付していただいた方には、「ふるさとへの便り」として市の特産品の中からご希望のものを1点お届けします。「ふるさとへの便り」で山口市の魅力を体感し、山口市のPR協力隊になっていただけますか？

平成24年度

ふるさとやまぐち寄付金のお礼と報告

平成24年度の寄付金は、14,146,149円(1,516件)になりました。多くのご支援や温かいメッセージをありがとうございました。皆様からいただいた貴重な寄付金は魅力あるまちづくりに向けて大切に活用させていただきます。



※ふるさと納税制度による寄付控除は、毎年受けられます。

山口市企画経営課
083-934-2746
kikaku@city.yamaguchi.lg.jp

ふるさとやまぐち寄付金 検索



あすこっでイベントがいっぱい!
いろんな発見しに出かけよう!

Yamaguchi city



Pickup Event

イベント名	開催日	開催場所	お問い合わせ先
1 湯田温泉白狐まつり	4月5日・6日	山口市湯田温泉/湯田温泉街一帯、井上公園周辺	湯田温泉白狐まつり実行委員会事務局 ☎083-920-3000
2 秋穂八十八ヶ所お大師まいり	4月19日・20日	山口市秋穂/秋穂エリア一円	(一財)山口観光コンベンション協会秋穂支部 ☎083-984-3741
3 第26回山口100 競往還マラニック大会	5月2日~4日	山口市/香山公園スタート (山口市~秋市)	山口100競往還マラニック大会 実行委員会事務局 ☎0835-24-5444
4 ほたる観賞Week!	5月31日~6月8日	山口市後河原/一の坂川沿い	山口市観光課 ☎083-934-2810
5 宮野ほたるまつり	6月初旬~中旬	山口市宮野上/山口ふれあい館	宮野ほたるまつり協賛会(山口市宮野地域交流センター内) ☎083-928-0234
6 四十八瀬川ほたる祭り	6月中旬	山口市小郡上郷/小郡上郷新町西公民館	四十八瀬川ほたる祭り実行委員会 ☎083-972-6314
7 山口祇園祭	7月20日・24日・27日	山口市中心商店街/八坂神社・堅小路ほか	八坂神社事務所 ☎083-922-0083
8 ふしの夏まつり	7月下旬	山口市小郡下郷/榎野川東津河川公園(小郡)	ふしの夏まつり実行委員会(おごり地域づくり協議会内) ☎083-976-8588
9 嘉年かかし祭り	7月下旬~8月末	山口市阿東嘉年/阿東地域交流センター嘉年分館そば	阿東地域交流センター嘉年分館 ☎083-958-0514
10 えび狩り世界選手権大会	8月下旬または9月上旬	山口市秋穂/中道海水浴場	(一財)山口観光コンベンション協会 ☎083-933-0088
11 山口七夕ちょうちんまつり	8月6日・7日	山口市中心商店街/パークロード、他	山口市ふるさとまつり実行委員会 ☎083-932-3456
12 りんご狩り	8月中旬~11月下旬	山口市阿東エリア	NPOあとう ☎083-956-2526
13 なし狩り	8月上旬~10月中旬	山口市阿東エリア	NPOあとう ☎083-956-2526
14 ぶどう狩り	8月上旬~10月中旬	山口市阿東エリア	NPOあとう ☎083-956-2526
15 山口ゆらめき回廊	9月13日・14日	山口市香山町/香山公園	山口市観光課 ☎083-934-2810
16 アートふる山口	10月4日・5日	山口市後河原/一の坂川、堅小路一帯	アートふる山口実行委員会事務局 ☎083-920-9220
17 あいお祭り	11月2日	山口市秋穂地域交流センター	たのSEA秋穂づくり協議会(山口市秋穂地域交流センター内) ☎083-984-5333
18 あいお花火大会	11月2日	山口市秋穂/大海漁港	山口県中央商工会青年部秋穂支所 ☎083-984-2738
19 長門峡もみじまつり	11月3日	山口市阿東/道の駅「長門峡」	道の駅「長門峡」 ☎083-955-0777
20 やまぐちスペインフィエスタ	11月上旬	山口市中心商店街	やまぐちスペインフィエスタ実行委員会 ☎083-925-2300
21 山口天神祭	11月23日	山口市古熊~中心商店街	古熊神社 ☎083-922-0881
22 日本のクリスマスは山口から	12月1日~31日	山口市中心商店街パークロードほか/市内各所	日本のクリスマスは山口から実行委員会 ☎083-925-2300
23 クリスマスナイトフェスティバル	12月23日	山口市阿東地福上/阿東地域交流センター地福分館	阿東地域交流センター地福分館 ☎083-952-0379
24 阿知須ひなもんまつり& 街角ぎやらりー	2月中旬	山口市阿知須/阿知須商店街周辺	山口県中央商工会阿知須支所 ☎0836-65-2129

※掲載の情報は、2014年2月現在のものです。予告なく変更される場合もありますので、事前に確認の上、お出かけください。



春

お湯で癒されのんびり楽しむ 湯田温泉白狐まつり

毎年4月上旬の土・日に、「白狐が見つけた温泉」といういい伝えにちなんで、白狐のお面をつけて松明を持った白装束の子どもたちが練り歩く「たいまつ行列」や旅館の内湯開放など温泉街一帯でさまざまなイベントが催されます。

日程 4月5日(土)・6日(日)
場所 山口市湯田温泉街一帯



春

弘法大師を偲んで巡ろう! 秋穂八十八ヶ所お大師まいり

弘法大師の命日にあたる旧暦の3月20日・21日の「お大師まいり」では、巡礼に来られた方に各札所で地元の方による心のこもったお接待があり、県内外から多くのお遍路さんで賑わいます。

日程 4月19日(土)・20日(日)
場所 山口市秋穂及び名田島、秋穂二島
アクセス JR新山口駅から車約20分



夏

乱舞するホタルに感動 ほたる観賞Week!

一の坂川で天然記念物のゲンジボタルを観賞できます。期間中の土曜にはフォトラリーや映画鑑賞などのイベントが開催され、多くの人で賑わいます。

日程 5月31日(土)~6月8日(日)
場所 山口市後河原 一の坂川一帯
アクセス JR山口駅から徒歩約10分



夏

幻想的な数万個の提灯 山口七夕ちょうちんまつり

室町時代、大内氏が先祖の冥福を祈るため盆に灯籠をともしたのが始まりと言われていま。御輿やちょうちん山笠が練り歩き、出店やイベントも盛りだくさんです。

日程 8月6日(水)・7日(木)
場所 山口市中心部商店街 パークロード他
アクセス JR山口駅から徒歩約5分



夏

約1万5千匹のエビをキャッチ! えび狩り世界選手権大会

車エビの養殖技術を完成させた秋穂にて毎年開催されている大会です。国内外から4万人以上の応募があるほど人気で、参加者は道具をつかわずに手で捕ったエビの数を競います。※参加は、事前応募で抽選。有料。

日程 8月下旬または9月上旬
場所 山口市秋穂・中道海水浴場
アクセス JR新山口駅から車約30分/山陽自動車道山口南ICから車約20分



夏

自然の中で果物狩り りんご狩り・なし狩り

阿東エリアの観光りんご園・なし園では、8月中下旬から秋までりんご、なしの果物狩りを楽しめます。園や時期によって異なる品種が楽しめるのも人気です。

日程 りんご狩り8月中旬~11月下旬、
なし狩り8月上旬~10月中旬
場所 山口市阿東エリア



秋

街の魅力を再発見! アートふる山口

西の京やまぐちとよばれるエリアの中心地、後河原から堅小路にかけてのエリアで、一般のお店や民家を美術館に見立てて懐かしいものや宝物などを一般の方に公開します。

日程 10月4日(土)・5日(日)
場所 山口市・一の坂川と堅小路一帯
アクセス JR山口駅から徒歩約20分



冬

色とりどりのつるし飾りがカワイイ 阿知須のひなもんまつり&街角ぎやらりー

阿知須の白壁の町並みに、ちりめんや古布で作られた小物「ひなもん」が並びます。お店の売り出しや特別メニュー、各種イベントも楽しむことができます。

日程 2月中旬
場所 山口市阿知須・阿知須商店街周辺
アクセス JR阿知須駅から徒歩約10分





□ □ □ □ □ □ □ □

このハガキで「彩都山口」プレゼントクイズにご応募いただけます。

郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、右のクイズの答え、アンケートの回答をご記入の上、お送りください。正解者の中から抽選で10名様に山口市の特産品詰め合わせをプレゼントします。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

クイズの答え

「彩都山口」の感想をお寄せください。

皆様のご意見を今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。

Q1 「彩都山口」をどこで入手されましたか？

1. 郵送で 2. 市役所や公民館等の公共施設で 3. 駅や観光案内所で
4. 道の駅や特産品販売所などで 5. ホテルや旅館等の宿泊施設で
6. 美容院や飲食店などのお店で 7. その他【具体的に：】

Q2 どの記事が面白かったですか？

1. 特集1 山口の四季、オムニバス
2. 特集2 中原中也の詩の世界を旅する
3. 発見! 山口自慢の技&美味
4. 彩都山口*旬、情報 5. イベント情報 6. 花カレンダー
7. その他【具体的に：】

Q3 山口市のどんなところに興味がありますか？

1. 歴史 2. 自然 3. 芸術・文化 4. 温泉
5. グルメ 6. その他【具体的に：】

Q4 山口市の中でどこか訪ねてみたい所がありますか？

訪ねてみたい理由があれば、それも教えてください。

場所【】

理由【】

Q5 今後、どんなテーマの記事を読みたいですか？

□ □ □ □ □ □ □ □

プレゼントクイズ

クイズ正解者の中から抽選で10名様に、山口市の特産品詰め合わせをプレゼントします!! 応募してください。

Q 詩人・中原中也の生誕地に建つ「中原中也記念館」は、今年開館何周年を迎えたでしょうか？

- ①25年 ②20年 ③10年

●応募方法

左の応募ハガキを切り離し、必要事項をご記入の上、お送りください。

●応募締切

- 第1次/平成26年9月30日(火)
第2次/平成27年1月31日(土)
※当日消印有効

【個人情報利用の目的】

ご応募いただいた際の個人情報は、誌面づくりの参考とプレゼント賞品の発送のみに使用致します。



山口のニッチな情報
ココにあります!!

「ytube」は、山口市の地域映像・写真投稿共有サイトです。会員(無料)になれば、スマートフォンやパソコンから簡単に映像や写真が投稿できます。

- 運動会やクラブ活動
- サークルの作品の発表
- 地域のイベントの紹介
- 山口の特産品の紹介
- お店情報



会員登録の方法など、詳しくは、コチラ!

<http://www.ytube.jp>

等々、山口のニッチな情報を発信&検索してみませんか

※「ytube」は、山口市と山口ケーブルビジョンが運営しています。



編集後記

『彩都山口』プチリニューアルしました。山口の豊かな自然“山・森・川・海”と歴史的遺産をカラーイメージで盛り込んだ新ロゴタイプ、いかがでしょうか。さて、今号では“西の京やまぐち”の魅力を源を探るべくあちこち探りを入れてみました。しかし、その答えは…「まちを愛する人」にあり、と。詳しくは特集1にて。そして特集2では、山口生まれの詩人・中原中也をご紹介します。生家跡に建つ記念館は、今年開館20周年。中也の愛用したノートや自筆原稿をはじめ、詩人の生きてきた時間や空間が感じられる貴重な資料を展示して皆さまのお越しをお待ちしています。ほかにもいろいろ…山口みやげのリサーチは「山口自慢の技&美味」のページで、山口へのお出かけや山口暮らしのヒントは旬&イベント情報で。“山口がもっと好きになる情報”満載の1冊となっています。

発行/2014年3月
山口市総合政策部企画経営課
〒753-8650 山口市亀山町 2-1
tel.083-934-2746
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

Staff

- 制作統括 株式会社コア
Editor in Chief 藤井香織・矢原玲子
Art Director 松本恵子
Writer 村上郁子・小野理枝・比嘉里江・吾郷直子
Illustration 山寺わかな
Photograph 蔵澄秀昭

取材協力

- 大殿ホテルを守る会
山口商工会議所
山口市の皆さま

花カレンダー

四季折々に楽しめる山口市内の花の名所&紅葉の名所と見ごろをご案内します。



花の種類	見ごろ	場所
桜	3月下旬~4月上旬	一の坂川・龜山公園・香山公園・木戸公園・古熊神社
	3月下旬~4月上旬	山口市小郡山手下 栄山公園
	3月下旬~4月上旬	山口市阿知須 岡山豊廟塔周辺
	3月下旬~4月上旬	山口市秋穂 草山公園
	3月下旬~4月中旬	山口市徳地野谷 大原湖岸
	3月下旬~4月上旬	山口市鑄銭司 長沢池
	3月下旬~4月上旬	山口市宮野上 木戸山
	4月初旬~4月上旬	山口市徳地深谷 重源の郷
	4月上旬~中旬	山口市阿東徳佐中 徳佐八幡宮しだれ桜
	4月上旬~5月上旬	山口市秋穂 八十八カ所街道沿
菜の花	4月下旬~5月上旬	山口市仁保 仁保一貫野地区
	5月上旬~5月中旬	山口市阿東徳佐下 グリーンヒルATO
ポタン	4月下旬~5月初旬	山口市古敷 龍蔵寺
アジサイ	6月初旬~下旬	山口市徳地深谷 重源の郷
菖蒲	6月中旬	山口市下小鯖 椋畑のノハナショウブ自生地
ハス	7月中旬~8月上旬	山口市仁保下郷 源久寺
ゆうすげ	7月中旬~7月下旬	山口市阿東徳佐 船平山
紅葉	10月中旬~11月中旬	山口市徳地柚木 滑峽
	10月下旬~11月中旬	山口市阿東 長門峽
	10月中旬~11月中旬	山口市徳地八坂 妙見社の大イチョウ
	10月下旬~11月下旬	山口市糸米 木戸公園
	11月上旬~11月下旬	山口市古敷 龍蔵寺
	11月中旬	山口市大殿大路 龍蔵寺
	11月中旬~11月下旬	山口市鑄銭司 両足寺
	2月初旬~3月初旬	山口市香山町 香山公園
2月初旬~3月初旬	山口市徳地深谷 重源の郷	
2月初旬~3月初旬	山口市秋穂赤崎 赤崎神社	
2月初旬~3月初旬	山口市小郡下郷 其中庵	

※掲載の情報は、2014年2月現在のものです。事前に確認の上、お出かけください。



両足寺/紅葉



徳佐八幡宮/しだれ桜



船平山/ゆうすげ



重源の郷/アジサイ

中原中也記念館 開館20周年記念イベント

中原中也生誕祭「空の下の朗読会」

2014年4月29日(火・祝)12:30~15:00

中原中也記念館前庭(※雨天の場合は山口市市民会館小ホール)

ゲスト/谷川俊太郎氏(詩人)、谷川賢作氏(作曲家・ピアニスト)

第19回 中原中也賞贈呈式 & 川上未映子(作家)×穂村弘(歌人)トークセッション

2014年4月29日(火・祝)16:00~18:30

山口市市民会館大ホール

※有料。全席自由。

中原中也詩英訳パネルディスカッション

2014年7月13日(日)

ホテル松政

パネリスト/伊藤比呂美氏(詩人)ほか4名

中原中也に関する公開講演

講演Ⅰ/2014年9月14日(日)ホテル松政

講師:池澤夏樹氏(作家)

講演Ⅱ/2014年10月(予定)山口情報芸術センター

講師:大林宣彦氏(映画作家)

※イベントの詳細情報はp.18にあります。また、p.13~p.17に関連記事があります。ご覧ください。



山口七夕 ちよらんまつり

2014年8月6日(水)・7日(木)

山口市中心商店街・山口駅通り・パークロードほか

問合せ先/山口市ふるさとまつり実行委員会 ☎083-932-3456



POST CARD



料金受取人払郵便



差出有効期間
平成27年
3月31日
切手不要

7 5 3 8 7 9 0

山口市亀山町2-1

総合政策部 企画経営課

「彩都山口vol.6」プレゼント係 行



必要事項をご記入ください

ふりがな		年 齢	歳
お名前 (必須)		性 別	男・女
ご住所 (必須)	〒 -		
T E L (必須)	() -	F A X	() -
ご職業			

※応募締切/●第1次/平成26年9月30日(火) 当日消印有効
●第2次/平成27年1月31日(土)